

看護支援システム

京都大学医学部附属病院 看護部

看護支援システム専任看護師の主な活動

- 看護記録の質向上を目指した活動
 - ・看護記録基準、看護記録細則などの整備
 - ・看護記録監査の実施
 - ・NANDA-I看護診断の教育支援
 - ・クリニカルパス
 - ・看護記録の可視化（各種データのフィードバック）
- 看護支援システム活用に関連した活動
 - ・電子カルテ、照合端末、SBS使用の推進と記録の効率化
 - ・電子カルテ更新時に看護部要望をまとめ改修要望する

当院の記録に関する基準



- 看護記録記載基準
- 京大病院看護記録略語集（2020年改訂）
- 適切な表現事例集
- 記録細則
- 看護記録監査基準

* 上記はすべて電子カルテから参照可能

マニュアル

- 安全管理マニュアル
- MEセンター・中央管理機器一覧
- 院内感染対策マニュアル
- ISO9001関係
- 検査マニュアル
- 検査器具一覧
- 診療科別基準

看護記事

- 看護実践マニュアル(併用版)
- がん支援療法マニュアル
- 緩和医療マニュアル
- システム停止時運用マニュアル
- 災害対策マニュアル
- 他科受診時診療科個別ルール
- 放射線部利用マニュアル
- 免疫チェックポイント阻害剤の副作用対策

看護過程に沿った看護記録システムの概要

経過記録

基本情報画面

アセスメント (基本情報)

評価

診断 (診断リスト)

実施 (経過記録)

計画 (看護診断、看護オーダー)

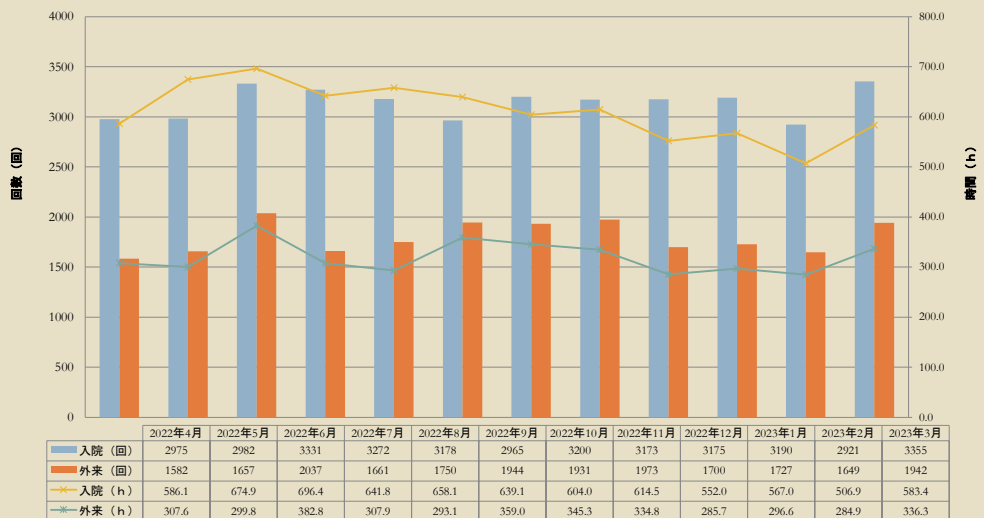
看護オーダー

看護診断画面

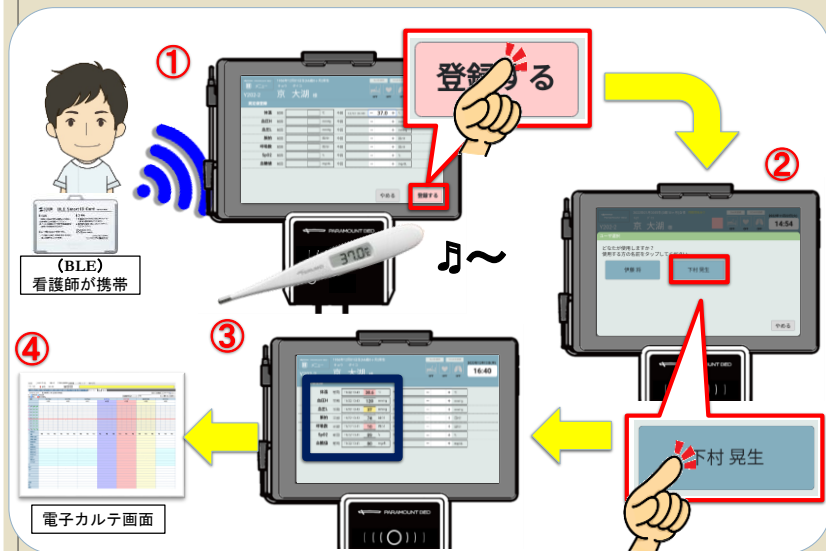
看護記録の可視化

- インフォームド・コンセント同席回数と時間
- スマートベッドシステム・照合端末入力率
 - カンファレンス回数と時間
 - 看護記録監査
 - クリニカルパス適用率
 - 観察項目入力率・ケア回数
 - 指導回数と時間
 - 退院サマリー確定率
 - 注射照合実施率
- 看護診断・クリニカルパス適用数
 - 看護診断評価率

2022年度 入院・外来指導回数と時間



SBSシステムからの体温入力方法



①職員用カード型ビーコンを持参し、ベッドサイド端末に近づき、通信可能なバイタルサイン測定機器をかざすと、バイタルサイン測定機器にある測定値を読み込みます。

②「登録」ボタンを押すと、ビーコンを検知している職員名が表示されます。ご自分の名前をタッチしてください。

③バイタルサイン測定機器で計測した時刻で、④電子カルテにバイタルサインを送信します。送信されたバイタルサインは左側に表示されます。

照合端末の概要

注射、輸血、検体の照合により安全性の向上に寄与している
照合端末使用によりベッドサイドで記録が完結し、業務軽減が期待できる



- ・患者スケジュール：検査などのスケジュールが表示される
- ・注射：患者と注射の照合実施を行う
- ・検体照合：患者と検体（採血スピッツなど）の照合を行う
- ・輸血：患者と輸血の照合実施を行う
- ・処置照合：患者と処置オーダーの照合実施を行う
- ・処方実施：内服薬の確認・登録を行う
- ・指示受け：一般指示の確認・指示受けを行う
- ・オーバービュー：電子カルテのオーバービュー表示項目が表示され入力可能
- ・写真撮影：患者に関する写真を患者カルテへ転送する
- ・汎用ラベル照合：患者と汎用ラベルを照合する
- ・設定：病棟設定変更が可能

看護支援システムは看護記録の質向上とともに、
電子カルテ、照合端末、スマートベッドシステムなど最新のシステムを
利用して安全性の向上と記録の効率化を目指しています。

最後までご覧いただきありがとうございました。